※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「情報Ⅰ」　（日本文教出版）						
副教材等	３０時間でマスターOffice（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題を解決する学習過程の中で、知識・技能を生かしながら多角的に考える活動を行います。
・グループで他者と協力して課題に取り組む活動もあります。自分の意見や友達の意見を大切にし、積極的に授業に参加してください。

2　学習の到達目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し，情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成する
ことを目指す。
(1) 効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し表現している。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	序章 情報社会に生きるわたし	第1節 なぜ情報について学ぶのか 第2節 「情報Ⅰ」で学ぶこと 第3節 学習の前に確認しよう	a:情報について学ぶ意義および「情報Ⅰ」で学ぶ内容を理解している。 b:問題解決に役立つ情報や情報技術の利用例を考えることができる。 c:社会における問題解決と情報について学ぶ意義を関連づけて考えようとしている。	授業プリント	発表	振り返りシート 授業観察
	第1章 情報社会の問題解決	第1節 情報の特性 第2節 メディアの特性 第3節 問題解決の考え方 第4節 法の重要性と意義―知的財産権 第5節 法の重要性と意義―個人情報 第6節 情報社会と情報セキュリティ 第7節 情報技術の発展による生活の変化 第8節 情報技術の発展による社会の変化	a:情報の特性について理解している。メディアが人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解している。情報社会における著作権侵害について理解している。知的財産権，産業財産権，著作権について理解している。適切なパスワードの設定について理解できる。サイバー犯罪の３分類について理解できる。Society 5.0 を支える技術について理解できる。Society 1.0 から 5.0 への社会の変遷について理解できる。 b:目的や状況に応じて，適切なメディアを選択することができる。目的や状況に応じて，情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えることができる。架空請求，ワンクリック詐欺，フィッシング詐欺を誘導する手法を理解し，適切に判断できる。日々の生活の中でソーシャルメディアにどのように関わっているか理解できる。AI やロボットが私たちの生活に及ぼす影響について調べることができる。 c:情報の特性が果たす意義や，留意点に気づき，情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。メディアの特性が果たす意義や，留意点に気づき，情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。問題の発見・解決について主体的に取り組もうとしている。不正なソフトウェアや財産を狙う犯罪について理解を深め，情報機器や情報通信ネットワークを安全に利用しようとしている。他者の個人情報やプライバシー，人権を尊重してソーシャルメディアを利用しようとしている。AI やロボットのメリットやデメリットを理解し，どのように活用することで，わたしたちの生活を豊かにできるか考えようとしている。Society 5.0 で求められる学びについて理解し，意欲的に学ぼうとしている。	授業プリント	発表	振り返りシート 授業観察

※令和４年度以降入学生用

	第2章　コミュニケーションと情報デザイン	第1節 メディアとコミュニケーション 第2節 情報のデジタル化 第3節 情報デザイン	a:コミュニケーションの手段の発達について理解している。メディアの発達により生じる課題の原因を理解しているメディアによって表現方法が異なることを理解している。アナログとデジタルの違いについて理解している。情報デザインの意味について理解している。情報デザインの作業手順について理解している。問題発見の重要性を理解している。デザイン物（ポスターWeb サイト）をつくる技能が身についている。 b:インターネットの特性を踏まえ，情報発信時に誹謗中傷や人権に配慮できているか判断できる。情報の信憑性を判断し，内容の正しさの見極めができる。目的に応じたメディアの選択ができる。アートと情報デザインの違いを考えることができる。情報デザインの考えをもとに，伝えたい情報を表現することができる。身近な問題を考え，表現することができる。 c:普段使っているコミュニケーション手段について，その特性を積極的に考えようとしている。情報デザインの力で問題解決に取り組もうとしている。グループの話し合いに積極的に関与しようとしている。問題を自分事として考えようとしている。要件定義の話し合いに積極的に関与しようとしている。ラ評価，改善の取り組みの重要性を理解し，より良いものをつくろうとしている。	授業プリント	発表	振り返りシート 授業観察

※令和４年度以降入学生用

2学期	第3章　コンピュータとプログラミング	第1節 コンピュータのしくみ 第2節 アルゴリズムとプログラム 第3節 モデル化とシミュレーション	a：コンピュータの構成要素やデータの制御，データの流れを理解している。ソフトウェアの種類と，OS の役割について理解している。2 進法の表現方法について理解している。アルゴリズムの意味やプログラムとの関係を理解している。アルゴリズムを表現する図や表について理解している。プログラムの構成要素である変数，データ型，演算の意味や種類を理解している。モデル化とシミュレーションの手順について理解し，モデルを使ってシミュレーションを行う技能を身につけている。 b:コンピュータを構成する各装置とデータの流れと制御の流れを表現し，説明することができる。ある処理について，複数のアルゴリズムを考え，効率の高いものを判断できる。基本構造を組み合わせて，アルゴリズムを構造化することができる。プログラムの中身を理解し，目的に応じて自分でアレンジすることができる。 c:身のまわりにあるコンピュータで処理できるような事例を自ら考え，理解を深めようとしている。処理対象を自分で考え，アルゴリズムを構造化，可視化しようとしている。身近な問題の解決にプログラムを積極的に活用しようとしている。プログラムの結果をもとに試行錯誤しながら改善しようとしている。プログラムの結果をもとに試行錯誤しながら改善しようとしている。	授業プリント	発表	振り返りシート 授業観察

※令和４年度以降入学生用

3学期	第4章　情報通信ネットワークとデータの活用	第1節 情報通信ネットワークのしくみ 第2節 情報システムとデータベース 第3節 データの活用	a: 機器どうしを情報通信ネットワークで接続するしくみを理解している。情報セキュリティに求められる 3 つの要素について理解している。認証技術，OS やアプリのアップデートの必要性を理解し，適切に使用・実行する技能を身につけている。共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式について理解している。数値データの分析手法について理解している。オープンデータを取得し，データ分析しやすいよう加工する技能を身につけている。問題解決のための手段に応じた表現をする技能を身につけている。 b: 目的や状況に応じて，情報通信ネットワークにおける構成要素を選択することができる。共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式の違いや，それぞれのしくみを説明することができる。未来の情報システムについて具体的にイメージできる。各情報システムから得られる情報について調査し，どのような分野に応用されるか考えることができる。データ収集方法によるメリット，デメリットを判断し，適切な方法で実習のためのデータ収集ができる。データ分析の結果から読み取れる情報を判断できる。解決策を発表し合い，お互いの意見を盛り込んだ内容に改善できる。他者に効果的に伝達できるように表現することができる。 c:情報通信ネットワークに興味を持ち，主体的に活用しようとしている。パソコンやスマートフォンの OS やアプリを最新の状態に保ち，安全に使用しようとしている。情報セキュリティの科学的な理解に努め，情報通信ネットワークを適切に活用しようとしている。未来の情報システムを想像しようとしている。データの収集や整理に粘り強く取り組み，試行錯誤を通じて改善しようとしている。問題解決のための協働作業に，積極的に参画しようとしている。	授業プリント	発表	振り返りシート 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度